

令和8年度

日本医科大学大学院
看護学研究科

学生募集要項

《 修士課程 》

C O N T E N T S

●令和8年度 日本医科大学大学院看護学研究科(修士課程)

募集概要	P2
募集分野／入学者選抜日程／募集人員／	
出願資格	P3
出願資格事前審査	P4
出願手続	P5
入学者選抜方法／試験日程、試験科目及び時間・会場	P6
合格発表／入学手続	P7
学納金／出願前相談	P8
長期履修学生制度について	P9

●添付書類

<一般選抜>

- 履歴書（様式1-1）
- 入学願書（様式1-2）
- 受験票、写真票（様式1-3、様式1-4）



日本医科大学大学院看護学研究科に関する情報は、
ウェブサイトもご覧ください。

<https://www.nms.ac.jp/college/gsn/>



アドミッション・ポリシー

日本医科大学の学是「克己殉公」と本研究科の教育理念「人々の健康と看護学の発展に貢献する、高度な看護実践能力と科学的・論理的思考を備えた人材の養成」に基づき、広く人々のために尽くす意志をもち、豊かな人間性を備え、質の高い医療者・研究者を目指す次のような者を求める。

《 求める学生像 》

1. 医療・看護の基礎的な知識と思考力を有し、その進歩と発展に貢献できる人
2. 真理を探求する志を持ち、科学的に解明する意欲のある人
3. 医療・看護への深い関心を持ち、国際的に活動することに意欲のある人
4. リーダーシップを發揮し、高度な看護を実践する意志のある人
5. 豊かな人間性を有し、多様な価値観を尊重できる人

教育研究上の目的

大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）は、医療健康科学に関する理論および応用を教授研究し、専攻についての知識・技術・倫理を教授研究し、生命倫理を尊重しつつ国際社会において自立して研究活動を行い、また、高度に専門的な業務に従事するに必要な高い研究能力およびその基盤となる豊かな学識を養うことを目的とする。

人材養成の目的

1. 科学的・論理的な思考力と全人的な視点をもち、高度な看護を実践できる医療者を養成する。
2. 高度化・複雑化する医療に対応できる知識・技術を備え、真理を探究する意志をもって研究に取り組む看護学研究者を養成する。

募集概要

募集分野

●看護学研究コース

基盤創造看護学／クリティカルケア看護学／慢性期看護学／精神看護学／
老年看護学／コミュニティヘルス看護学

●高度実践助産学コース

助産学

入学者選抜 日程

出願資格事前審査 書類提出期限	令和7年 12月1日(月) ~ 令和7年 12月8日(月)
出願期間	令和7年 12月1日(月) ~ 令和7年 12月12日(金)
試験日	令和8年 1月29日(木)
合格発表日	令和8年 2月27日(金) 午後1時
入学手続期間	令和8年 2月28日(土) ~ 令和8年 3月9日(月)

募集人員

12名（うち高度実践助産学コースは最大6名）

出願資格

次のいずれかに該当し、本大学院で認めた者

- ① 大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者。
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または令和8年3月末までに学士の学位を授与される見込みのある者。
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者で、本大学院において適當と認めた者。
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者。
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む)により、学士の学位に相当する学位を授与された者(または令和8年3月までに授与される見込みの者)。
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(平成17年9月9日文部科学省告示第138号)(または令和8年3月までに修了見込みの者)。
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者。(昭和28年文部省告示第5号)
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学の大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。
- ⑩ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに満22歳に達する者。

上記項目の、③～⑩に該当する志願者は、出願資格事前審査申請書類を提出する。

出願資格事前審査（該当者のみ）

出願資格の③～⑩に該当する志願者については、本大学院において出願資格事前審査を行うため、事前審査に必要な「出願資格事前審査申請書類」を事前に提出すること。

出願資格事前審査終了後、対象者全員に本大学院からご連絡しますので下記を確認して下さい。

●出願資格が認められた者

本大学院からのご連絡後、出願手続(P5)に従い、必要書類を提出すること。

●出願資格が認められない者

ご提出いただきました書類等は、理由の如何を問わず一切返還はいたしません。

出願資格事前審査申請書類 出願資格の③～⑩に該当する志願者

※P2の出願資格事前審査書類提出期限までに提出すること。結果は電話またはメールにて通知します。

(1) 履歴書(様式 1-2)

(2) 高等教育(大学、大学院等)に関する卒業(修了)証明書 及び成績証明書

その他高等教育修了と同程度の学力があることを証明できる書類

(16年間の教育歴を満たしている場合も可能な限り提出すること)

※出願資格の①及び②に該当する志願者は、本大学院において出願資格審査は不要です。

出願手続(P5)に従い必要書類を提出すること。

出願手続

入学志願者は、次の書類を取り揃えて、窓口（学事部大学院課）へ郵送すること。

1. 入学願書（様式 1-1）----- 1通
2. 履歴書（様式 1-2）※出願資格事前審査にて提出した場合は不要 ----- 1通
3. 受験票、写真票（様式 1-3、様式 1-4）----- 1通
4. 写 真 ----- 3枚
(カラー・縦4cm×横3cm:同一写真、出願前3か月以内に撮影の上半身・脱帽・正面・背景なしのものを
履歴書、受験票、写真票にそれぞれ1枚ずつ貼付すること)
5. 成績証明書 ----- 1通
(出身大学長が出願前3か月以内に証明したもの。ただし、当該大学で直送するか、厳封したものを提出すること。
出願資格審査にて提出した場合は不要)
6. 卒業（見込）証明書 ----- 1通
(出願資格審査にて提出した場合は不要)
7. 入学検定料 ----- 30,000円
(同封の振込依頼書により、銀行振込の後[振込金受取書A（※銀行取扱印の押されたもの）]を提出すること)
8. 看護師免許証を有する者は、その写し（A4サイズ）※高度実践助産学コースに限る ----- 1通
9. 送付用住所シール（合格書類発送等で使用するため）----- 1枚
10. 英語民間試験の成績証明書を有する者は、その写し（P6参照）----- 1通

分野の選択方法

1. 志望する分野について、入学願書の指定欄に記入すること。
2. 志望分野の指導教員と事前に連絡をとって出願について相談すること。
連絡先の教員が指導教員1~5のいずれかの場合は、
医療健康科学部準備室(kangogakka@nms.ac.jp)までご連絡下さい。担当教員へ連絡いたします。

注 意 事 項

1. 出願手続後の検定料は返還しない。
2. 外国国籍を有する者は、住民票（出願前3か月以内に発行したもの）又は在留カード（両面・写）を添付すること。
3. 提出された書類は返却しない。
4. 出願手続後の入学願書等の記載事項の変更は、いかなる場合があっても応じない。
また、出願手続書類に虚偽の記載、その他不正が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
5. 身体に障害のある者が、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、
本人又は代理人からの申し出に基づき、障害の種類・程度に応じて本大学院が審査の上、検討する。
6. 証明書類と名前が異なる場合は改姓したことがわかる戸籍抄本を添付すること。

◎個人情報の保護について

出願にあたり提供された氏名・住所・その他個人情報は、入学者選抜・合格発表・入学手続など、
入学までの一連の入学業務以外には一切使用しない。

入学者選抜方法

1. 英語《TOEFL ITP®テスト》
2. 専門科目(形式:小論文)
3. 面接

上記1.2.3.及び成績証明書等を以て、総合的判断により合格者を決定する。
ただし、4年以内に以下の成績を取得した者は、学力試験の英語を免除する。

●TOEFL(iBT) : 60点以上 ●IELTS : 5.5以上 ●TOEIC : 600点以上

試験日程、試験科目及び時間・会場

令和8年 1月29日(木)

試験科目	時間	試験会場
英語 《TOEFL ITP®テスト》	午前9時30分～正午	
専門科目 (形式:小論文)	午後1時～午後2時	日本医科大学 (千駄木校舎)
面接	午後2時15分以降	

試験当日は、午前9時15分までに試験会場に入場すること。

〈受験票・筆記用具(HB鉛筆、消しゴム)を持参のこと〉

**日本医科大学
千駄木校舎**
東京都文京区千駄木1-1-5

- ◎東京メトロ千代田線
「千駄木駅」及び「根津駅」徒歩8分
- ◎東京メトロ南北線
「東大前駅」及び「本駒込駅」徒歩8分



合格発表

令和8年 2月 27日(金) 午後1時

大学ホームページ
(お知らせ一覧)

1. 合格者には合格発表日に、合格証及び入学手続書類等を「送付用住所シール」に記載された住所に普通郵便で郵送する。
2. 電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

入学手続

【 入学手続 】

以下を含む入学手続書類を全て揃えて期限内に窓口(学事部大学院課)へ提出または郵送すること。

1. 誓約書／1通 [合格発表後に合格者へ交付するもの]
2. 保証書／1通 []
3. 写 真／1枚 [カラー・縦4cm×横3cm]
4. 住民票／1通 [本籍・国籍記載のもので、入学手続前3か月以内に発行されたもの]
※マイナンバーの記載が「ない」もの
5. 入学式出欠表／1通 [合格発表後に合格者へ交付するもの]
6. 収納証明書(A票)／1通

【 入学手続期間 】

令和8年2月28日(土) から 令和8年3月9日(月)まで

1. 窓口(学事部大学院課)持参による受付時間は、
午前9時から午後5時まで(正午から午後1時、土曜日・日曜日及び祝日を除く)。
2. 郵送による提出の場合も手続期間に必着のこと。

◎合格辞退について

一般選抜における入学手続完了者が、やむをえない理由で入学を辞退する場合について、令和8年3月31日(火)正午までに入学辞退届を提出した場合は、手続時の授業料を返還する。(必着のこと)
なお、上記期限内に入学辞退届が提出されない場合、又は期限後の入学辞退は理由の如何にかかわらず既に納入した学納金の返還は行わない。

学納金

1. 入学金	200,000円
2. 授業料	500,000円（年額）
3. 施設整備費	200,000円（年額）
4. 学生教育研究災害傷害保険料 (内訳／夜間部:200円+通学中等障害危険担保特約550円+接触感染予防保険金支払特約40円)	790円（2年間分）
5. 学研災付帶賠償責任保険料	1,000円（2年間分）

※ 長期履修学生についてはP9参照。

※ 学納金の金額は、本要項作成後に改定されることがあるので、入学案内に記載する金額を納付すること。

※ 日本学生支援機構奨学金制度の利用が可能です。

出願前相談

本大学院への入学を希望する方は、必ず出願前に大学院入学後の履修計画や研究計画等について、指導を受けようとする教員と相談をする必要があります（出願期間に出願書類の提出が間に合うように行って下さい）。

1. 申込方法

出願前相談の申込みはメールにより受け付けます。「研究指導に関わる教員の研究テーマ及び出願前相談連絡先一覧」(P9参照)をご確認いただき直接教員へご連絡下さい。

なお、送信するメールは、件名を「出願前相談の申込について」とし、メール本文に以下の(1)～(5)の項目をご記載下さい。後日、教員から出願前相談の方法及び日程について、メールまたは電話にてご連絡します。

- (1) 志願者氏名
- (2) 連絡先(メールアドレス、電話番号)
- (3) 最終学歴
- (4) 検討しているコース
- (5) 大学院での研究テーマ等

2. 相談および確認する内容

- (1) 看護師、保健師、助産師の職務経験、保健、医療、介護、社会福祉サービス等に係る職務経験、関連資格の取得状況
- (2) 本研究科修了後の看護学および社会への貢献
- (3) その他、出願手続きや入学後の学修に関する事項

長期履修学生制度について

職業を有している等の社会人学生で、履修や研究の時間が著しく制限されるため、本研究科の標準修業年限(2年間)を超えて在学しなければ教育課程を修了できないと考える者に対して、申請のうえ、大学が審査し、最長4年間の修業年限で在学し、計画的に教育課程を修了することにより学位の取得を認める制度です。

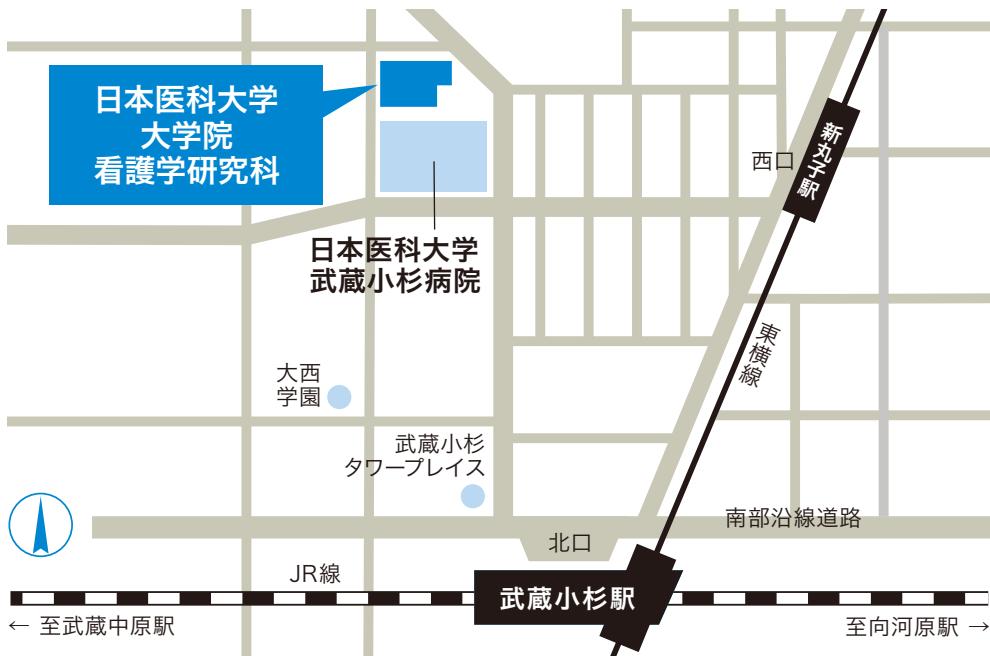
長期履修学生として認められた期間の授業料は、修業年限の年数を乗じて得た額を長期在学期間の年数で除した額を支払うことになります。本制度を希望する方は、あらかじめ医療健康科学部準備室(kangogakka@nms.ac.jp)に照会してください。

研究指導に関わる教員 出願前相談連絡先

※連絡先の教員が指導教員1～5のいずれかの場合は、医療健康科学部準備室(kangogakka@nms.ac.jp)までご連絡下さい。担当教員へ連絡いたします。

コース	分野	担当教員及び連絡先	研究指導概要
看護学研究	基盤創造 看護学	勝山 貴美子 k-katsuyama@nms.ac.jp	看護管理学、病院管理学、組織倫理学
	クリティカル ケア看護学	真砂 涼子 r-masago@nms.ac.jp	基礎看護学、看護技術の開発・評価
		近藤 幸尋 kondoy@nms.ac.jp	急性期ケア、周術期ケア、低侵襲手術支援
	慢性期看護学	斎藤 文仁 f-saitow@nms.ac.jp	神経生理学、神経薬理学、生物物理学
		指導教員1 (kangogakka@nms.ac.jpへご連絡下さい)	慢性期看護、セルフケア支援、生活環境と健康
	精神看護学	指導教員2 (kangogakka@nms.ac.jpへご連絡下さい)	慢性呼吸器疾患、セルフマネジメント、患者教育、国際看護
		指導教員3 (kangogakka@nms.ac.jpへご連絡下さい)	地域精神医療、司法精神看護、家族支援、アディクション(薬物・アルコール)、美容医療
	老年看護学	福田 大祐 d-fukuta@nms.ac.jp	精神看護学、精神科リハビリテーション、精神疾患の認知機能障害への看護
		永田 文子 ayako-nagata@nms.ac.jp	老年看護学、看取りケア、高齢者ケア施設、認知症ケア、在日外国人の健康支援
		青柳 寿弥 hisami-aoyagi@nms.ac.jp	認知症高齢者と家族介護者の看護、教材開発
助産度学実践	伊東 真理 mari-ito@nms.ac.jp	高齢者看護、地域在住高齢者を対象とした研究、認知症高齢者ケア	
	コミュニティ ヘルス看護学	田中 美加 mi-tanaka@nms.ac.jp	公衆衛生看護、母子・高齢者保健、産業保健、健康行動変容、地域プログラムの開発と評価
	助産学	指導教員4 (kangogakka@nms.ac.jpへご連絡下さい)	母性看護・助産学、周産期ケア、育児支援、家族支援
		指導教員5 (kangogakka@nms.ac.jpへご連絡下さい)	周産期メンタルヘルス、母子関係支援、外国人妊産婦支援、国際助産学

所在 地



◎JR南武線・JR横須賀線・JR湘南新宿ライン・東急東横 目黒線「武藏小杉駅」徒歩4分
◎東急東横 目黒線「新丸子駅」徒歩4分

看護学研究科(武藏小杉校舎事務室)

〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町1丁目383
(日本医科大学武藏小杉病院隣接)
Eメール: kangogakka@nms.ac.jp

日本医科大学
大学院看護学研究科
HP



問い合わせ先(窓口)

日本医科大学事務局学事部大学院課

TEL: 03-3822-2131(代表)

〒113-0031 東京都文京区根津1丁目25-16

日本医科大学医療健康科学部準備室

Eメール: kangogakka@nms.ac.jp

【窓口受付時間】 9:00～17:00 (12:00～13:00・土曜日・日曜日及び祝日を除く)